

# 取引先の経営改善や成長力の強化

## ① ライフステージ別の長期資金残高（2019年3月末） 195億円

**福島県**



### ライフステージ別の長期資金

プロパー・制度資金	JA 信連	新規就農関連資金	農業近代化資金	負債整理資金
		113百万円	2,951百万円	147百万円
			アグリマイティー資金	
			9,527百万円	
			農機ハウスローン	
746百万円				
その他農業者向け資金				
2,050百万円				
金庫	農業者向け資金			
	2,115百万円			
日本公庫受託資金	青年等就農資金	農業経営基盤強化資金（スーパーL）		
	319百万円	436百万円		

農業関連団体等
その他農業関連資金
その他農業関連資金
0百万円
その他農業関連資金
1,056百万円

※上記残高は、長期資金(災害資金除く)のみを集計しているため、ディスクロージャー誌等の残高数値と異なります。

## ライフステージ別に応じた支援事例

業種	水稲	使 途	設備資金
経 緯 ・ 目 的	<p>A株式会社はこれまで役員が所有していた旧式で小規模対応の乾燥機を使用していましたが、今般50 h a 規模対応の最新鋭の乾燥調整施設を導入することにより、電気代の節約のほか乾燥ムラの減少による米の品質向上、作業時間の短縮による農作業の効率化を目指すものです。</p> <p>安達郡大玉村大山地区は大玉村水稲全体895 h a の約半分の440 h a 占めており、当社の水稲生産は大山地区で作付けを行っています。高齢化が進展する中で農業の担い手不足を背景とした農作業受託等の需要拡大が見込まれ、行政および地域において期待されている農業法人です。</p>		
効 果	<p>当社の事業計画は、大山地区における毎年5 h a 減少する部分について、当社が受け皿となり、小作または作業受託することにより規模拡大を図っていくもので、当社の存在意義はこの大山地区にとって非常に大きなものとなっています。</p>		

# ライフステージ別に応じた支援事例

業種	穀作	使 途	設備資金
経 緯 ・ 目 的	<p>農林中央金庫 福島支店は、福島県二本松市の一般社団法人A（以下「当社」という。）が新たに取り組む「営農型発電事業」に対して、設備資金の融資を行いました。</p> <p>「営農型発電事業」とは、農地に支柱を立てて上部の空間に太陽光パネルを設置し、作物の栽培を継続しながら発電をできるようにした発電事業のことです。太陽光を農業生産と発電とで共有することから「ソーラーシェアリング」とも呼ばれており、農村地域における再生可能エネルギー導入のひとつのモデルとして、近年注目されています。</p> <p>当社は東日本大震災および原発事故の発生以降、「エネルギーの地産地消」の重要性を痛感したことから、「営農型発電事業」に着目し、同じ福島県内で再生可能エネルギー事業に取り組むB株式会社の協力を受けながら準備を進め、2018年8月より新たに「営農型発電事業」を開始しました。</p>		
効 果	<p>今回の「営農型発電事業」では、二本松市内の農地1,998㎡を活用して太陽光パネルが設置され、その下で主に大豆の生産が行われます。</p> <p>今後、発電された電力は、以前から農産物販売での取引実績のあるB社へ販売され、将来的には売電収入を新規就農者の育成に活用するなど、地域農業のさらなる持続的な発展に向けた計画の支援に繋がる予定です。</p>		